JDDnet 第22回年次大会

2026.12.6(Sun)

ビジョンセンター東京八重洲

早期からの支援を、切れ目のない制度へ

～行動面の課題への支援と、これからの発達障害者支援法～



大会長：

井上 雅彦

JDDnet副理事長

鳥取大学大学院医学系研究科

臨床心理学講座 教授

-午前の部-

シンポジウム１

行動面の課題に対する早期からの支援

-午後の部-

シンポジウム２

これからの発達障害者支援法

開催日：

2026年12月6日（日）

時　間：10:00-16:30 （9:30受付開始）

会　場：ビジョンセンター東京八重洲（903）

参加費：一般 7,000円　会員 6,000円（早割価格有）

お申込：JDDnetホームページ　https://jddnet.jp

定　員：140名（先着順）申込締切：12月2日

主　催：一般社団法人 日本発達障害ネットワーク

10月末まで

★早割価格★

お申込はこちらから

10:15 ~ 12:30 シンポジウム1

行動面の課題に対する早期からの支援

座長：井上 雅彦（大会長・JDDnet副理事長）

話題提供：

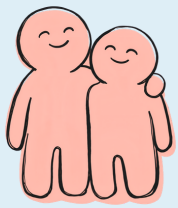
竹内 弓乃（NPO法人ADDS 共同代表）
『福祉・児童発達支援の現場でエビデンスに基づく早期支援を仕組み化・社会実装する』

神山 努（横浜国立大学 教育学部 学校教員養成課程 特別支援教育 准教授）
『PTR-Fを活用した幼児期の深刻化予防と家族支援』

岡村 章司（兵庫教育大学大学院 特別支援教育専攻 発達障害支援実践コース 教授）
『家族と協働する支援のあり方、地域での継続』

指定討論：

日詰 正文（JDDnet副理事長）
會田 千重（国立病院機構肥前精神医療センター 副院長）



13:30 ~ 16:15 シンポジウム2

これからの発達障害者支援法

司会進行：内山 登紀夫（JDDnet理事長）

シンポジスト：

大塚 晃（JDDnet副理事長）
『現行制度の中で支援が届いたこと・届かなかったこと』

三浦 信祐（発達障害の支援を考える議員連盟）
『議員連盟からの報告　再改正に向けた検討状況』

米田 隆史（厚生労働省 障害福祉課 地域生活・発達障害者支援室 室長）
『福祉・医療・地域生活支援の現状と今後の課題』

酒井 啓至（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課　特別支援教育企画官）
『教育における発達障害支援と切れ目のない移行支援』

今泉 愛（こども家庭庁 支援局　障害児支援課長）
『乳幼児期からの家族支援と地域支援体制』



職能団体資格更新ポイント申請予定

- 日本作業療法士協会
- 特別支援教育士資格認定協会
- 学校心理士認定運営機構(種別:B1)
- 日本公認心理師協会
- 臨床発達心理士認定運営機構
  （臨床発達心理士有資格者）
- 日本臨床心理士資格認定協会

※申請状況などの詳細はホームページにて確認ください。
※受講証明書は全プログラム終了後、受付にて配布いたします。



MAP

JR各線
東京駅 八重洲北口
徒歩4分

東京メトロ 銀座線
東西線
都営地下鉄
日本橋駅
（B3出口）
徒歩1分